

【出席率】 会員58名中47名

【先々週の出席率】 95.92%

【先週のメイクアップ】

5/29 吉田RCへ 西巻克郎君 野島廣一郎君
坂井範夫君 坪井正康君



会長挨拶

吉井 正孝 会長

こんにちは。
先週、「次回の例会はロイヤルホテルですよ！」と、予告しておきながら、今日の私は真っ直ぐ『しんきん』に向かってしまいました。「終り」が近づくと緊張感も失せてしまうのかも知れません。

さて今日は、われわれの身近に住むようになった「動物たち」の話をしようと思います。まずは悪名高き「カラス」の話から・・・。

三条祭り少し前の事、通りを隔てた向かいの金物屋さんの店先を、行ったり来たりする一羽のカラスを見つけました。人が通ると一時的にその場を離れ、通り過ぎるとまたその場所へ・・・よく見るとそこにビニール袋に入った2個入りの「亀の子タワシ」が置いてありました。カラスはそれを啜って逃走を図ろうとしたものの、さすがに重くうまくいかない様子。すると彼は、ビニール袋を破り、2個包みを「1個にして」持ち去りました。きっと巣づくりの道具に使ったのでしょう。カラスがクリーニングの針金ハンガーを啜って飛んでる様子は見た事がありましたが、「タワシ」は私も初めて・・・。お店の人に知らせる事も忘れて、その頭の良さにしばし見とれてしまいました。

それから数日の後、わが家でちょっとした「捕り物騒動」がありました。

10日程前から、私の寝ている部屋の天井裏から、複数の足音がするのです。ひとつは「のっしのっし」とゆっくり歩く感じ・・・。そしてもう一種類は、歩幅も狭く「ちょこちょこ」走る感じの足音・・・。それもきまってもまだ眠い朝4時過ぎ。てっきり「猫の親子」だと



国際ロータリー会長 李 東 建 [韓 国]
第2560地区ガバナー 馬 場 信 彦 [三 条 南]
第4分区AG 古 井 辰 禱 [吉 田]
会 長 吉 井 正 孝
幹 事 鈴 木 圀 彦
S A A 野 中 悟

事務局

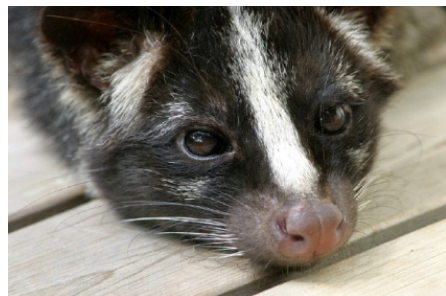
〒955-8666 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫本店内

☎0256-35-3477 Fax 0256-32-7095

E-maile info@sanjo-minami.jp

URL <http://www.sanjo-minami.jp>

思っていました。それでも気になるので大工さんに来て貰い、天井を覗いた大工さんがビックリ……。なんと「ハクビシンの親子」でした。三匹の子どもとその母親……。



子どもが可愛らしかったので捕まえようと手を伸ばした処、脇の母親とシッカリ視線が合い、凄いで脅され怖くなって慌てて天井を閉めたとの事。こりゃ手に負えないと、急いでカミさんが害虫駆除業者に電話しました。ところが、捕まえるには「鳥獣捕獲許可」が必要との話。取り敢えずデジカメで、和んでいるハクビシン親子を写真に収め、大型の金網カゴ 2 個に好物のバナナをセットして捕獲を試みたものの「空振り」……。翌日には彼らは道具をまとめてよそへ引っ越して行きました。

ネットで調べると、ハクビシンは「ジャコウネコ科」の哺乳類。ヒマラヤから東南アジアにかけて、中国や台湾、及び日本に分布。国内では本州と四国だけに分布しているとの事で、何でも食べる「雑食性」。農作物にも甚大な被害を与えることもあるとの記載。

一方、飼い方によっては人にもよく慣れ、ペットとして飼う人もいるかと思えば、中国では「食用」とする習慣もあるとか……。以前、中国を中心に猛威を振った「サーズ」は、この「ハクビシンの肉」が原因とも言われているとの事です。

この思わぬ訪問者に「何でわが家へ！」と、話が弾んだ 10 日間……。それにしても彼らのオヤジは「何処へ行っているんだ……！」と、またまた父親の権威と存在感が薄れた数日間ではありました。人からは「何か佳い事の前兆」と、嬉しがらせて頂きましたが、今の処そんな気配はみじんもなく、残ったのは大工さんと害虫駆除業者への手間賃の支払いだけでした。今日の会長挨拶はこの辺で……。



表彰

武藤 昭三会員

米山功労者マルチプル

(累計 700,000 円 感謝状が贈られました)

幹事報告

鈴木 圀彦 幹事

- 植木ガバナーエレクト事務所より「地区協議会」出席、協力お礼
※5月23日 於：柏崎市総合体育館他 南クラブ 14名出席
- 馬場ガバナー事務所より 6月のロータリーレートのついて
現行 1ドル 98円 変更なし

BOXボックス

～・ 6月 1日 17,000円 今年度累計 959,894円 ～

- 吉井君 私の年度もあと丁度一ヶ月。ポチポチ身辺整理を始めました。決算も何とか「黒字」で佐藤年度にお渡しできれば……と、それが一番の関心事です。あと一ヶ月、皆様よろしくお願ひ致します。
- 鈴木(圀)君 今日から水無月、「衣替え」の季節となりました。長かったレースもようやくゴールが見えてきました。
- 草野君 病院のコンサートは新潟の有名ディキシーランドグループです。どうぞよろしくお願ひ致します。
- 佐藤(秀)君 創立記念例会にあと何回出席できるかな……? 健康第一に!
- 西巻君 創立記念例会に出席できて幸せです。吉井会長、ご苦労様です。
- 野島君 久しぶりのホームクラブ出席です。
- 渡邊(光)君 創立記念、おめでとうございます。今後ともよろしくお願ひします。
- 丸山(徹)君 創立記念例会おめでとうございます。
- 安達君、大溪君、大原君、田代君、田中(悌)君、銅冶君、野崎君、馬場(一)君 BOXに協力致します。
- 馬場(眞)君 BOXに協力、有り難うございました。

「創立記念日に寄せて」

吉井 正孝 会長

当初、今日の私の卓話テーマは、別の内容でお話ししようと考えておりましたが、よくよく考えてみたら創立の「祝い」に相応しくないと、昨夜になって急遽内容を変更、バタバタ資料を探し始めました。「40周年」を迎えた今日 → 6月の「年度末」 → クラブの「創立記念日」・・・という道筋で、大きなプレッシャーが重くのしかかってきたんです。

さて話を始めます。私が南クラブに入会したのは1990年（平成2年）のこと。この5月、今年で19年目を迎えました。当然のことながら、創立当初の様子は知る由もありません。しかしその頃を知るに格好な資料を見つけました。

「10・20・30周年記念誌」と「現況報告書」等々です。今日はこれらを元に、当クラブの創立当時に思いを馳せてみます。



当時は今と異なり、「新潟」「群馬」「栃木」「茨城」の4県がひとつの地区。栃木の日光金谷ホテルの社長がガバナーの頃、彼の「新クラブ設立」の意向を受けて誕生したのが南クラブ創立のきっかけだったようです。そして昭和43年6月3日、三条信用金庫（現在の中央支店）で仮発会式。同年6月20日RI加盟承認。チャーターナイトは、昭和44年6月8日。会場は、三条厚生福祉会館でした。スポンサークラブは、三条ロータリークラブ。特別代表に金子左武郎氏にお願いして、チャーターメンバー26名でのスタートでした。創立時の会長は金子六郎氏、幹事は田中正佐久氏（いずれも故人）。この金子・田中の名コンビは、創立当初の大事な2年間、会長・幹事としてクラブの「舵取り」にご尽力されました。

1998年、わがクラブ発行の30周年記念誌「30年目のありがとう」に、創立以来「無欠席」を誇る3名のチャーター会員、田中正佐久、吉田秀治、馬場信彦の三氏による「座談会」には、創立当時を思い出させる次のような記述があります。

田中：金子六郎さんが実行委員長でした。すべてが最初で、お互いに知らない人ばかりでしたので、大変気を遣った憶えがあります。そのチャーターナイトでタクトを振ってくださったのが、ご結婚前の馬場信彦さんの奥様なんですね。

（中略）最初のガバナー公式訪問の時は、何をどうしてよいかも判らず、金もない心細い状態だったんです。それに桐生の前原パストガバナーが大変厳しい方だと脅かされていましてので一層気を遣いました。当日は大雪で、車が動かないような日で、それでもなんとか、東三条駅に長靴持参でお迎えに行ったんです。同行された金子さんが、当時三条市長だったので皆さん顔見知り・・・。どこでも誰にでも気軽に挨拶されており、ガバナーも気を良くされて大変好評でした。

そして、この日の様子はそれから10年後、迎えた当クラブ10周年記念誌「10年の歩み」に、記念式典の来賓として再び来条された前原PGの祝辞「一昔前の思い出」として、次のような寄稿がありました。

（中略）1969年1月19日。私は東三条駅に降り立った。初めての公式訪問の為である。駅舎は雪水に濡っていて、男も女もみんなゴム長である。私はと言えば、ウカツにも短靴のままであった。駅頭に立ってみると、以前に三条ロータリークラブ訪問の時に見た広場は失せて、大きな雪の山で向こう側は見えない有様。ボー然としていると「前原さんでしょうか」と声がかかった。見るとその人は、ゴム長一足を手にブラさげている。

「三条南の金子です。お迎えに参りました」。ヤレヤレ助かったと思ったと同時に、「相手の身になって考える」とはこのことだ。「新クラブ」とは言え、既にこのクラブには「ロータリー精神」が溢れていると思うと、雪風にこごえていた身体が急にホテッた感じで、あったかくなってきた。

馬場：創立当時は会員募集の際、「区域限界」と言う制限項目があって、私はワイフの実家の「田島」を住所にして入会していました。今は市内一円全国区ですが、当時はこんな点にも定めがあり、うるさかったんですね。行事の進め方でも、その「形式」や「内容」が重視されていましたが、とにかく田中さんはキチンとしておられて、計画の立案たるや凄く勉強になりました。

司会（鈴木 武）：なにせハカリ屋さんですからね。（笑）

吉田：私は長岡から来たでしょう。市外から来た上に、仕事も市外。この町のことは全く知らないんですよ。三条に来て10年経っても仲間はいいし、どなたも初めてお会いする方ばかりでした。そんな中、当時は親睦行事が一番大切でしたね。その頃の親睦委員長は、確か佐藤 譲さんでした。

～思い出に残る「例会」～

田中・吉田：昭和44年7月27日。アメリカの宇宙船アポロ11号が月面着陸した日です。その日は、丸山 徹ちゃんが例会場にテレビを持ち込んでくれました。食事をとりながら、会長挨拶も無しで一時間以上、全員テレビに見入っていましたよ。

～意地の一念で「会報記録」を一年間～

馬場：クラブ会報委員長だった時、突然幹事に「何で記録を執らないんだ」と、いきなり怒られたんです。それまでは毎例会、事務局が会長挨拶を記録し、まとめてくれていたのですが、皆んなの前で叱られた事がきっかけとなって、「意地でも例会は休まないようにしましょう」と思いましたし、結局この事が契機となって、私の「100%出席」を続けさせてくれた原動力となったのも事実です。それからの一年間、ずっと一人で黙々と会報記録を執り続けたんです。それ以来翌年からは、会員自らが会報記録を執るようになりました。

如何でしたでしょうか。少しは、創立当時の様子をお伝えすることができたでしょうか・・・？「見てきたような」なんとかで、実はあまり自信は無いのですが・・・！

最後に例会時、クラブにとって貴重な財源の一部である「スマイルBOX」徴収時に添えられたチョット素敵なコメントの幾つかをご紹介します、私の本日の卓話を終わります。

★ ☆ ★ (順 不 同)

- ガチャン。ガラス戸に小鳥のぶつかる音。戸を開けると野良猫が猛然と落ちた小鳥に襲いかかる。寸前、私は飛び降りて小鳥を救い出しました。暫く休んで、小鳥は元気に飛び立って行きました。その日一日、私の心はあたたかかった。(1991.9/2 故 金子 六郎 君)
- 田上での夜例会の写真、有難うございました。ひざ枕の写真はよいのですが、あまりに高いひざ枕で、首が痛くなった事を思い出しました。(1990.9/17 坪井 正康 君)
- 初めて年末年始に家を空けました。家内に、「パパが居ないと気楽でいいから、毎年留守にしてくれ」と言われました。(1994.1/10 吉田 秀治 君)
- 実家の縁の下にタヌキの親子が棲みつき、作物を荒しています。共棲すべきか捕獲すべきか悩んでいます。誰か「皮」のいる人か、「肉」が欲しい人には差しあげます。(1994.10/17 渡辺 久晃 君)
- 勝新さん、さようなら。三条の「勝新」より・・・！(1997.6/23 丸山 徹夫 君)

星
霜

Participate!
 三条南R.C. 一回公式訪問 昭44.1.20
 前原ガバナー 会長 金子六郎 幹事 田中三治郎
 創立年月 1963.6.3. 26名 期天会百報 28名 (佐藤美一郎)
 今21424 12月10日22時 (昭48.10.3) 26名 (丸山 徹夫)

国際ロータリー東京大会